

## 政策評価調書(2年度実績)

政策名	移住・定住の促進	政策コード	I-9	関係部局名	企画振興部、商工観光労働部、農林水産部
-----	----------	-------	-----	-------	---------------------

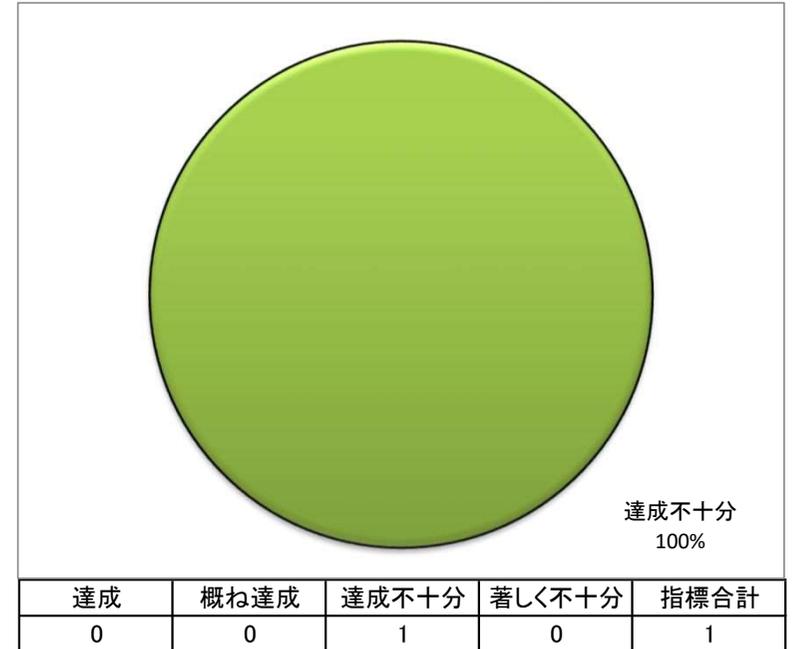
### 【Ⅰ. 政策の概要】

UIターンを促進するため、地域の居住環境や魅力の情報発信を強化するとともに、移住の受け皿となる仕事づくりや移住後の定着に向けた移住者へのフォローアップ、大学生等若者の県内定着やUターンの促進に取り組む。

### 【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	移住・定住のための環境整備とUIターンの促進	達成不十分	B

### 【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



### 【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

R2年度の移住支援策による移住者数は過去最高となったが、5年に一度のR2年の国勢調査の速報では大分県の人口はH27年比△41,741人で平成以降最大の落ち込みとなっており、特に、福岡県への転出超過が顕著である。

引き続き、東京に移住コンシェルジュ、県外事務所に移住サポーターを配置し、移住相談会を毎月開催するとともに、移住専門誌やウェブマガジンにより先輩移住者を紹介し、移住者の仕事確保のための技術習得支援なども行うことで、さらなるUIターンの促進のための取り組みの強化が必要である。

また、コロナ禍を契機としたリモートワークの普及拡大などの新しい生活様式の広がりや、人々が都市から地方に目を向けるきっかけとなっており、この動きをUIターンに結びつけることが重要である。オフィス系企業やサテライトオフィスの誘致、地域の情報通信格差の是正やコワーキングスペースの確保など、移住の受け皿となる仕事づくりや環境整備に加え、大分県拠点施設「dot.」を活用した福岡在住の若者の県内就職イベントの開催等の取り組みをさらに推進していく必要がある。

### 【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—